

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403017

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進	事業優先度	B		
単位施策	1	地域づくり活動の促進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	自治会運営補助事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	自治会数		関係課	#N/A		
事業目標	35自治会		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	1	自治会への加入	関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	
	各自治会の街灯施設の維持・補修を図るため、街灯電気料金、街灯修繕補助、街灯新設補助を行うものです。						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	26,507	4,500	5,507	5,500	5,500	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	26,507	4,500	5,507	5,500	5,500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	25,598	4,625	5,506	4,943	5,069	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	25,598	4,625	5,506	4,943	5,069		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並びに電気料の補助を行っており、自治会運営の一助となっている。電気料金の値上げにより増額。(20年度中に6自治会が減少し、現在は29自治会となっている。) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並びに電気料の補助を行っており、自治会運営の一助となっている。電気料金の値上げにより増額。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並びに電気料の補助を行っており、自治会運営の一助となっている。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並びに電気料の補助を行っており、自治会運営の一助となっている。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並びに電気料の補助を行っており、自治会運営の一助となっている。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	35自治会	29自治会	29自治会	29自治会	29自治会
	年度達成率	103%	100%	90%	92%	99%	
	全体達成率	17%	38%	57%	76%	97%	
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	自治会運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	自治会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	補助対象自治会数、一世帯当たり運営費補助金	
【抱える課題やニーズは】	自治会が自主的な活動をしていく中で、多くの経費がかかる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各自治会に対し自治会運営費の一部を補助することにより、自治会活動の活性化と、自治会の円滑なる運営が図られる。	① 補助金交付自治会数/街灯が設置されている自治会数	目標年度	平成24年度
			目標値	29 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各自治会が、コミュニティづくりや安全で安心して暮らせるまちづくりの推進、及び行政等との調整や連携・協力について、自律した活動を支援する。	② 一世帯当たり運営費補助金	実績値	25 団体
			達成度	86.2 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①自治会運営費の補助	各自治会に対して運営費の補助を行うことで、近隣相互の連帯感を促進し、自治会活動を活発にする。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	コミュニティづくりや安全で安心して暮らせるまちづくりの推進、及び行政等との調整や連絡など、自治会の円滑な運営を図りため必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当事業により、地域住民相互の連携、環境の整備等良好な地域社会が維持、形成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 下回る	
/課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	この事務事業の大部分は街灯電気料相当額の補助であり、電気料金の値上がりは事業費へ大きく反映されるため、事業費の抑制は困難であるが、地域の防犯環境は保持された。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

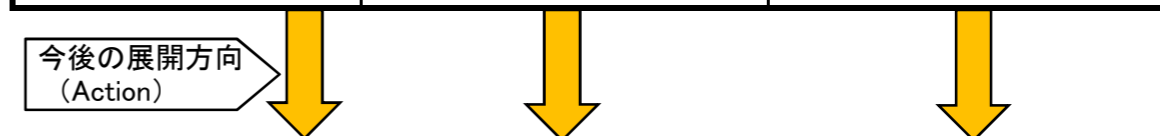
概ね公平	判断の理由	防犯対策の必要性が高い自治会への補助であり、電気料については全額補助するため、概ね公平性は保たれている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
地域の防犯環境を維持・向上するためには継続的な支援が必要であり、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。	同左	



継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
引き続き街灯の電気料相当額、修繕経費、新設経費に対する補助を行うものとするが、電気料金の値上げが進んでいるため、事業をより一層効果的なものとするため、防犯灯のLED化を促進する。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止